

「社会的な見方・考え方」が意識できる！

教材活用シリーズ 第189回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などを紹介します。

(株)学宝社  
『学習整理 社会』  
(中学1～3年生用)



(株)学宝社  
編集出版部 社会科

1. はじめに

社会科は、自分たちの生きる世界の過去と現在を学び、未来をよりよく生きるための力を身につける教科です。中学校学習指導要領（平成29年告示）では、社会科の基本的な考え方として、以下の3点を挙げています。

- ① 基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得
  - ② 「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成
  - ③ よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成
- このうち、知識・技能の習得や思考力・判断力・

表現力等の育成は、日々の学習の積み重ねによって実現されます。ワーク教材は、生徒が授業で学習した内容を、実際の問題演習で確認することで、これらの習得・育成を着実にサポートする役割を担います。そこで『学習整理』は、知識及び技能の習得だけでなく、思考力、判断力、表現力等の育成において、「社会的な見方・考え方」を意識して学習できるように、作成いたしました。

2. 特長

- ① 3ステップで無理なくできる！  
『学習整理』は、(A) 整理ワーク、(B) 確認ワーク、(C) まとめワークの3段階で構成され

ています。

(A) 整理ワークは、教科書本文を要約した文章の穴埋め問題です。主に教科書で太字となっている重要語句を中心に確認できます。教科書を読みながら取り組めるため、授業の予習・復習のどちらでも活用することが可能です。

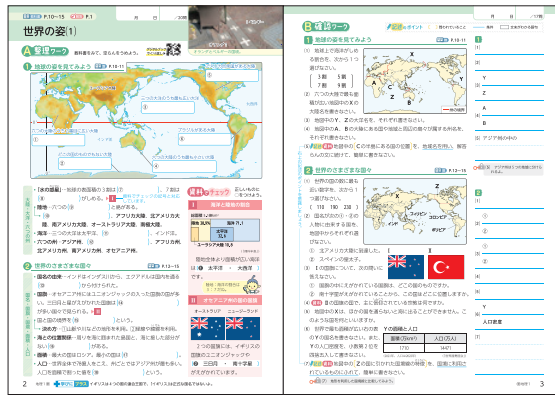
文章中に解答欄があるため、書き込んだ後に読み直しがしやすい構成です。一方で、この構成では解答欄が隠しにくく、くり返し学習がやや難しいため、新たに「整理ワークデジタルブック」をご用意しました。誌面内または表紙ウラの二次元コードを読み込むことで、整理ワークのデジタルブックを閲覧できます。解答欄をタップすると、解答の表示・非表示を切り替えられるため、くり返し学習に活用できます。また、デジタルブックには整理ワークのみを収録しているため、教科書内容の要約文集としても使用できます。

(B) 確認ワークでは、整理ワークで学習した内容を、実際に問題演習で確認することができます。整理ワークと確認ワークは見開きで配置されているため、整理ワークで学習した内容の振り返



▲デジタルブック（イメージ）

りもしやすいです。整理ワークや教科書を参照しながら確認ワークに取り組むことで、より丁寧に知識の定着を図ることができます。

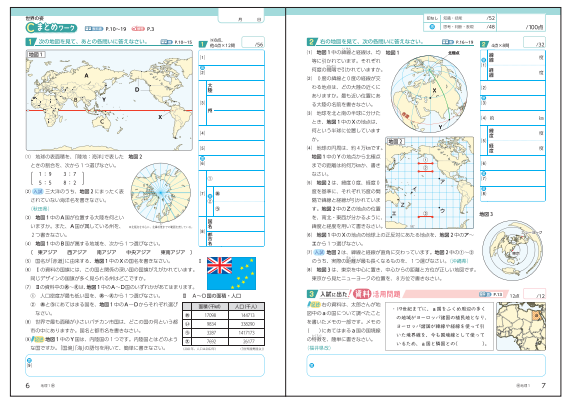


▲「整理ワーク」と「確認ワーク」

(C) まとめワークでは、該当単元の内容を総合的に扱った問題に取り組み、学習内容の理解を確認できます。原則として、確認ワークよりも広い範囲の内容から出題され、複数の資料を用いた問題や入試問題など、より発展的な問題にも取り組めます。

(A) 整理ワークから (B) 確認ワーク、(C) まとめワークと、丁寧に学習を積み重ねられるため、社会科が苦手な生徒でも、無理なくしっかりと取り組むことが可能です。

② 社会的な見方・考え方を意識できる！  
特別企画「学びをつなげる思考」では、社会



▲「まとめワーク」

的な見方・考え方を意識して問題に取り組むことができます。単元や分野を越えて、これまで学習した内容をつなげて考えることを目的とした企画です。地理1、歴史1、公民では4回分、地理2、歴史2・3では3回分を掲載しています。

この企画ページでは、冒頭で各分野の見方・考え方を整理し、それぞれの問題にどの見方・考え方が関連しているかを示しています。そのため、生徒は、該当する社会的な見方・考え方を意識しながら、問題に取り組むことができます。

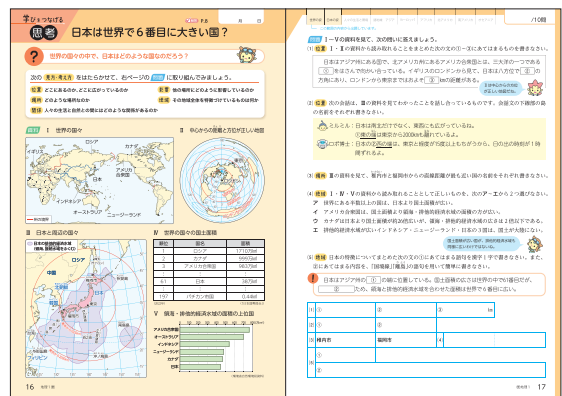
また、問題は複数の資料を用いた資料活用問題で構成しています。実際の入試形式を意識し、資料と問題を左右のページに分けて掲載しているため、問題の指示に合った資料を選び、解答に必要な情報を読み取る練習につながります。

### 3. おわりに

これまで紹介した通り、『学習整理』では、知識及び技能の定着を図る3ステップの構成に加え、「社会的な見方・考え方」を意識して思考力、判断力、表現力等を育成する助けとなる企画も備えています。生徒の学力向上を目指した誌面構成であることはもちろん、先生方の定期テスト作成やプリント作成の負担を軽減するデジタルコンテンツも多数ご用意しております。

過去と現在を学び、未来につなげる社会科の学習は、生徒の生きる力を培ううえで大切なものです。本書が、生徒たちの未来を支える教育の一助となれば幸いです。

今後もお愛顧のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



▲「学びをつなげる思考」